

下記、第1期終了しました。

EPO

—知的（発達）障害のある人の支援と関係性を考える—

# “支援者エンパワメント塾”

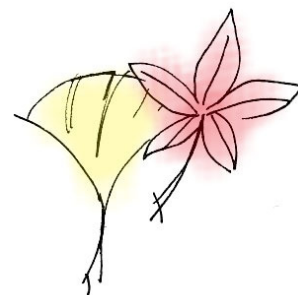
10月・11月・1月の各月の最終土曜日に関講！「3回通して、寺子屋風に入れ替えなして、一つのことをよくよく分かりたい」という趣意で「塾」と名づけました。支援者にとって求められているものは何か、よくよく分かりたいと。参加お申し込み下さい。

- 期日 2011年10/29・11/26、2012年1/28の3回。各月の第4土曜日午後5：30～
- 定員 75名（定員になり次第締切り・申込先：Fax 06-6320-6068 ・Eメール npoepo@nifty.com）
- 会場 市民交流センターひがしよどがわ（JR新大阪駅・東出口から徒歩5分。）
- 受講対象 知的（発達）障害者の支援にかかわる方、並びに本テーマに関心のある方（福祉・教育・保育・相談・行政・司法・医療・大学の各機関・現場等）
- 受講料（3回通し資料代込み）5,500円

## <ともに生きる - 知的（発達）障害者の「自立」>

- 第1回 10/29（土）PM5：30～  
身体障害者から見た「知的（発達）障害者の自立」  
—障害とともに生きるなかまとして。

金澤 紀代子（ピアカウンセラー）



- 第2回 11/26（土）PM5：30～  
育ちに格闘した重度の子は、成人して自立生活（GH）エンジョイ中！  
—親も支援者も「ともに」の渦のなかで意気込み、寄り添いながら。



塩毛誠司・佐田恵子（親&支援者）

- 第3回 1/28（土）PM5：30～  
知的（発達）障害と身体障害—自立の違いと「ともに生きる」  
—「ともに生きる」運動の源流をふりかえり、その潮流が行き着く先を見据えて。（講義と対談）

堀智晴・楠敏雄（研究者&障害当事者の運動家）

